

中国農村漁村

ライフスタイルアート展



会期 2017. 3. 1 |水| — 3. 19 |日|

入場無料

会場 美作市立作東美術館

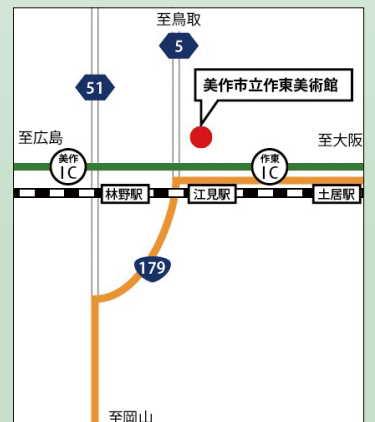
開館時間 9:30 ~ 16:30 (初日のみ11:30~、最終入館16:00) 休館日:月曜日

オープニングセレモニー 2017年3月1日 11:30~

主催:美作市、中国文化センター

後援:美作市教育委員会、美作市文化連盟、岡山県日中友好協会、岡山市日中友好協会、岡山県立大学
協力:岡山県立大学客員教授 児玉由美子

題字:粟津紅花



住所:岡山県美作市江見945
中国自動車道
作東インターより車で5分





挨拶



中国文化センター
センター長
石永菁
(外交官)

中国文化センターは、2008年5月に胡錦涛国家主席が訪日した際に、中国文化部と日本外務省が締結した「文化センターの設置に関する中華人民共和国政府と日本国政府との間の協定」に基づき設立されました。2009年12月14日、習近平副主席と横路孝弘衆議院議長により中国文化センターの除幕式が行われ、正式にオープンいたしました。日本政府が北京に設立した日本文化センターも、この協定によるものです。

中国文化センターは、東京の中心部虎ノ門に位置し、展覧会、公演、講演会、中国語と中国文化体験の教室、映画上映会等を行い、中国に関するさまざまな情報を提供しています。

「友好・協力・普及・優良」を趣旨としており、中国の文化を紹介し、日本の皆様との文化交流を行うことで、中日友好事業を促進することを望んでおります。

この度の展覧作品は、中国文化センターの収蔵品で、美作市での公開が日本初となります。美作市を皮切りに全国へ巡回する予定です。同展を通じて美作市の市民の皆様と中国の農民と漁民の心の交流が盛んになることを期待しております。

中国農民・漁民画紹介

中国農民画は通俗画の一種であり、中国伝統文化の思考方式、造型、技術、色彩および現代絵画の意識を融合し、変化させた芸術形態であります。中国各地の民俗を養分に、農民自身の生活を源泉として、農民画家の「天を描き、地を描き、自分を描く」という絵画の特徴を見事に表現しています。

中国の農民画は奇抜な構図、誇張した表現、生き生きとした表情、充実した内容、強烈な色彩、歓喜に満ちた情緒、健康素朴な基調に富んでおり、その独創的かつ大胆な抽象芸術の特徴から、東方のピカソという美称を得ています。

今回の展覧会では「中国現代民間絵画の故郷」である浙江省嘉興市と舟山市から約50点の農民画・漁民画の傑作を集めました。これらの作品は、現代中国の農村や漁村の新たな変化と気象をテーマとし、さまざまな生活の様子を描いています。純朴な大地と海の香りを帯びた作品には、農民・漁民画家の独特な芸術的視点と美意識が現われており、新時代の農民・漁民が明るい未来に対する期待とロマン豊かな情緒が表現されています。



オープニングセレモニー
2017年3月1日(水) 11:30~

開幕挨拶：美作市長 萩原誠司、中国文化センター センター長 石永菁 他
内容：テープカット、記念品交換式、記念撮影

